



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2023/12/18

研究課題名	膵体部癌に対する至適切除術式の検討
研究の対象	2012年1月～2021年12月までに当院において、膵体部癌と診断され根治を企図した手術が施行された方
研究目的・方法	膵臓癌の治療では、外科的に病巣を切除することが極めて重要です。術式には主に膵頭十二指腸切除術（膵臓の右側の切除）と膵体尾部切除術（膵臓の左側の切除）の2通りあり、癌の発生部位に合わせて選択されます。ところが、癌が膵臓の中央部である「膵体部」に発生した場合にはいずれの術式も選択されることがあり、どちらが妥当な術式であるかは十分なエビデンスがありません。ふたつの術式は手術の複雑さや合併症の頻度、リンパ節郭清範囲などに大きな差があり、切除術式を適正化することによって膵癌の治療成績がさらに向上することが期待されます。今回の研究では、膵体部癌に対して膵頭十二指腸切除術を施行した症例と膵体尾部切除術を施行した症例の治療成績を比較し、妥当な術式を明らかにすることを目的とします。 研究期間：許可日～2026年3月31日まで
研究に用いる試料・情報の種類	<u>背景</u> 手術時年齢、性別、BMI、術前血液検査結果等 <u>手術関連因子</u> 手術日、手術術式、手術時間、出血量、術中輸血の有無、合併症、術後在院日数、術後1・3・6か月の血液検査結果、術後6か月の脂肪肝の有無、術後補助化学療法の有無等 <u>病理学的因子</u> 腫瘍径、分化度、T因子、N因子、根治度(R0/R1/R2)、CY(CY0/CY1) 等 <u>転帰</u> 再発日、再発形式、生存最終確認日、転帰(原病死/他病死/生存/不明)
外部への試料・情報の提供	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究代表機関： 京都大学医学部附属病院（責任者）肝胆膵・移植外科 教授 波多野 悦朗 共同研究機関： 静岡市立静岡病院（責任者）外科 科長 佐々木直也 福井赤十字病院（責任者）外科 部長 土井幸司 滋賀県立総合病院（責任者）外科 医長 佐藤朝日 大津赤十字病院（責任者）外科部 外科部医長 北口和彦 京都市立病院（責任者）消化器外科 副部長 奥田雄紀浩 京都医療センター（責任者）外科 外科医長 成田匡大 京都桂病院（責任者）外科 部長 福光剣 北野病院（責任者）外科 副部長 井口公太 大阪赤十字病院（責任者）消化器外科 医長 濱口雄平 関西電力病院（責任者）消化器外科 部長 河本 泉 神戸中央市民病院（責任者）外科 医長 北村好史 西神戸医療センター（責任者）外科・消化器外科 医長 畑俊行 神鋼記念病院（責任者）消化器外科 医長 小松原 隆司 尼崎総合医療センター（責任者）外科・消化器外科 医長 山中健也 公立豊岡病院（責任者）外科 医長 上村 良 天理よろづ相談所病院（責任者）消化器外科 消化器外科部長 待本貴文 日本赤十字社和歌山医療センター（責任者）消化器外科 主任部長 安近健太郎 倉敷中央病院（責任者）外科 部長 増井俊彦 小倉記念病院（責任者）外科 主任部長 藤川貴久



お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、 研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出 ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 消化器外科 副部長 井口公太（研究責任者）</p> <p>研究代表者： 京都大学大学院医学研究科 肝胆膵・移植外科 教授 波多野 悦朗</p>
---------	--